

第1回大河ドラマを生かした博覧会推進協議会(設立総会) 議事概要

日時：令和8年7月10日(金)14:00～15:30

場所：ザ クラウンパレス高知 3階 花の間

1 開 会

進行：高知県観光政策課 中橋課長補佐

2 発起人挨拶

挨拶：高知県 濱田知事

3 大河ドラマを生かした博覧会推進協議会の設立

進行：高知県観光政策課 中橋課長補佐

資料：資料1 大河ドラマを生かした博覧会推進協議会について

4 議事

大河ドラマを生かした観光振興基本計画(素案)

進行：高知県観光振興スポーツ部 小西部長

説明：高知県観光政策課 矢野課長

資料：資料2 令和10年度末までのドラマの動きとトピック

資料3-1 大河ドラマを生かした観光振興基本計画(素案)の概要

資料3-2 大河ドラマを生かした観光振興基本計画(素案)

質疑応答・意見交換

【発言】日本旅行業協会中四国支部高知県支部 新開委員長

- ・ 旅行業界全体で機運醸成を図り、全国各地から高知県への送客に努める。ジョン万次郎の高知での生活は14歳までのため、大河ドラマの構成上、最初の2～3話で高知のシーンが終わってしまうのではないかと懸念がある。「ロケ地巡り」や「聖地巡礼」といった需要喚起のためにも、1シーンでも多く、主演の山崎賢人さんが出演する高知での撮影シーンを増やせるかが重要である。

【発言】高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 藤本代表理事

- ・ 本県の宿泊人員数と客室稼働率は、全国的にも低い状況であるため、ジョン万次郎の

大河ドラマが放送されることについて、大いに期待している。大河ドラマを見た方が県内各地を周遊していただけるよう、県全体で取り組むことが重要である。既存の施設でも、関連する企画展などが開催されるのではないかと考えている。「らんまん」の時に観光客が増えたのは、誘客の核となる施設が整備され機能していたからであり、各地域の関連施設を整備し、深く掘り下げていく必要がある。業界全体でも力を合わせて努力していく。

【発言】土佐清水市 橋本市長

- ・ 15年の誘致活動が結実したのは、皆様のご協力があったからこそ。大河ドラマ決定後、副知事とともにNHKに向かい、少しでも地元の土佐清水市でロケができないか期待していたが、大河ドラマ「豊臣兄弟！」放送中の今、ジョン万の話題を全面に出すことは厳しいと感じた。主演の山崎賢人氏がオファーを受けてくれた時点で、この大河ドラマは成功するというのがNHKスタッフの認識。そして、この大河ドラマは、本社のセットで制作する最後の大河ドラマとなるため、NHKにとってもメモリアルなものとなるとお聞きした。
- ・ 土佐清水市では庁内に大河ドラマ「ジョン万」推進室を設置するとともに、民間の実行委員会を組織した。機運醸成として市内18箇所に設置した投票箱でアイデアを募集し、「市民協働」をキーワードに市民のアイデアを形にする仕組み作りを行っている。
- ・ 今回の大河ドラマの舞台は、今までのような高知市近辺ではなく、高知市から3時間かかる中山間地域となる。中山間地域の観光リソースが減少する中、この好機を活かして中山間地域へいかに光を当てられるかが問われている。限られた観光リソースをうまく活用し、来た方におもてなしを届けることを考えていきたい。

【発言】土佐市 板原市長

- ・ 土佐市では、宇佐を「開国の原点」として捉えている。ジョン万次郎とともに出港した宇佐の漁師たちにもスポットを当ててほしい。
- ・ 土佐市にも、観光の拠点となるようなものを整備する必要があると考えている。今回の大河ドラマをきっかけに、ゆかりの地としてポテンシャルを高めるための取り組みを進めていきたい。
- ・ 民間による組織の設立や、庁内でもプロジェクトチームを設置する等の動きがある。

【発言】土佐くろしお鉄道(株)代表取締役 山脇社長

- ・ 大河ドラマ誘致の実現を大変嬉しく受け止めている。ジョン万次郎という人物の生き方が全国に広く知れ渡る絶好の機会であり、この機を最大限に活かしたい。
- ・ 中村駅を起点とした地域を周遊するバスやタクシー、レンタカーの連携を強化し、中村駅が「幡多地域の玄関口」としてビジターセンターの機能をしっかりと果たせるよう、市町村、関係団体、観光関係以外の方々などとも連携をしていく。
- ・ 「ごめんなはり線」では「らんまん」「あんぱん」両方の観光ツアーで多くの方に利

用いただいている。ここに「ジョン万」が加わるので、これを生かさない手はないと考えている。「らんまん」「あんぱん」「ジョン万」は、「アニメ」「花」「歴史」「国際交流」という強いコンテンツが揃うため、県民みんなが参加できて、自然と周遊する新たな知恵出しと一緒に考えていきたい。

【発言】高知県おもてなし県民会議 植田会長

- ・ 県民を挙げてのおもてなしをコンセプトとしているため、観光客の方には満足して帰っていただける体制を考えていきたい。
- ・ 会場まで迷わずに行けるよう標識の整備が必要。特に土佐清水市は遠方であるため、空港や駅からの交通手段の利便性を高めることが大切ではないか。
- ・ 土佐清水市までは距離があることがネックとなる一方、他の観光地にはない「高知県の県民性」が強み。地元の人たちとの触れ合いを通じて「また来たい」と思ってもらえる仕掛け作りが大切。今回は大河ドラマの舞台が広い地域にわたるため、高知県全体でそれぞれの地元の魅力を再認識する必要がある。景色や食だけでなく、地元の人との触れ合いによってリピーターを増やせる仕掛けをしていきたい。

【発言】高知中央郵便局 町田局長

- ・ これまでも「どっぷり高知旅キャンペーン」などとタイアップした観光PRに取り組んできた。構想段階ではあるが、「ジョン万」のフレーム切手を作成し、県内の全郵便局、四国の県庁所在地や大都市圏の一部の郵便局で販売することを検討したい。
- ・ 県産品の発送時に使用する包装資材等に博覧会のロゴをあしらうなど、物流を通じたPRに努めたい。
- ・ 郵便局の車両（集配車・バイク等）にPRステッカーの貼付協力もしながら、観光PRの盛り上げにも役立てていきたい。

【発言】土佐清水市 橋本市長

- ・ 「ジョン万」という言葉がNHKエンタープライズによって商標登録されたと聞いており、「ジョン万」という言葉が使いにくくなることを懸念している。円滑にPR活動や商品開発が展開できるよう、高知県とNHKの間で包括的な利用許諾や手続きの調整をお願いしたい。

【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長

- ・ NHKと協議のうえ、こういった形であれば使用できるのか、改めて説明の機会を設けたいと考えている。

【発言】北川村 上村村長

- ・ ここ最近、県内全域に人が流れるようになってきたと感じるので、いかに県内全域に誘客させることができるのかを考えていきたい。

【発言】高知の食を考える会 横山会長

- ・ 高知はホッピングツアー王国であると考えている。ランチパスポートに始まり、龍馬パスポートやちょい飲み手帖、晩酌きっぷ等楽しめる要素が全国の中でも高い。東西に広い高知県をホッピングできるような、県下くまなく周遊できる施策を検討できればよい。当会として、土佐のおきゃくや豊穰祭などでも、全力でPRに努めていきたい。

【発言】高知市観光協会 岡崎会長

- ・ 桂浜の坂本龍馬像が令和10年に建立100年を迎える。この機会に、龍馬会を含めた関係者と盛大にお祝いしていきたい。
- ・ ジョン万次郎と坂本龍馬の接点はないが、河田小龍は両者と関係があった。河田小龍を通じて、同じ時代に生きたジョン万次郎と坂本龍馬の繋がりもPRしていけたらと考えている。

5 閉 会

挨拶：高知県 濱田知事

進行：高知県観光政策課 中橋課長補佐